

### 杉ノ段招魂祭

## 戦没者の慰霊を弔う

明治維新以降の戦争で亡くなられたかたを慰霊する杉ノ段招魂祭が9月23日、杉ノ段招魂墓地で開催されました。

遺族ほか団体関係者、消防団員らが参列して、しめやかに神事が執り行われ、参加者一同で戦没者のめい福を祈り、平和への誓いを新たにしました。

その後、招魂墓地下の広場で、小学校対抗の相撲大会や弓道が奉納されました。

相撲大会では、どの試合も熱戦が繰り広げられ、観客席からたくさんの歓声や拍手が送られました。

優勝した城川内小学校の柏木銀侍君は「練習の成果が出せた。2連覇も達成できて嬉しい」と喜びながら話しました。



↑保護者をはじめ、多くの人が見守った相撲大会

### 各地で小学校運動会

## 台風一過の青空のもと開催

10月初旬、町内の各小学校では運動会が開催され、児童たちの歓声で賑わいました。

今年の運動会は当初、9月30日に予定されていましたが、台風24号の影響でそれぞれの小学校は運動会を延期して開催しました。

10月1日に運動会を開催した鷹巣小学校は外部・PTA競技を除き、午前中だけの開催となりました。

6年生全員リレーでは、児童と保護者の混合チームでバトンをつなぎ、小学校最後の運動会を楽しんだ様子でした。

### 十五夜行事

## みんなでついた、美味しいお餅

旧暦の8月15日にあたる9月24日、町内各地で十五夜行事が行われました。

子どもたちは各家庭に飾られた供えものを持って歩き、暗くなったころ公民館に集合しました。

当日はあいにくの雨模様で、毎年、相撲を開催している集落では相撲を中止しましたが、子どもたちはお菓子の交換をしたり、トランプをしたりして、楽しいひと時を過ごしました。

山中集落では、育成会会員が蒸したもち米で、30人ほどの子どもたちが餅つきに挑戦しました。

鷹巣小学校6年生の川添陸斗君は「餅をつくのは難しかったけど、つきたてのお餅は美味しかった」と満足した様子でした。



↑保護者に手助けされ、餅つきに挑戦



↑児童・保護者でバトンをつないだ6年生全員リレー